

# GPSデータ信頼性確保

## 生成AI活用PWCあらたなど研究

PWCあらた（東京都千代田区、井野貴章代表執行役）と宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合（SSIIL、東京都中央区、神武直彦代表理事）は、データの信頼性の確保に向けた共同研究を行う。地理空間情報に関する生成人工知能（AI）「GeoGPT」と信号認証の両技術を用いて、全球測位システム（GPS）データなどを安心

して流通・利活用できるようにする。サブライチエーション（供給網）などのテーマを設定し、4～5年後に成果をまとめる。SSIILは宇宙産業関連の大学発スタートアップなどで構成し、衛星画像解析などの先端技術を持つ。一方、PWCあらたは信頼付与に関する専門性を有する。両者の知見を生かし、GPSデータの捏造・改ざんのチェッ

クや、信頼を担保するための仕組みづくりをする。GPSデータ収集が

難しいケース、複数の端末やセンサーで収集したデータとの相互運用などの課題解決にも取り組む。GeoGPTは人や自動車の移動、混雑状況の予測、施設立地の最適化などをこなす生

成AIで、異常を検知できる。PWCあらたとSSIILは共同研究を通じ、運用や精度向上に取り組んで安心・安全なサイバー・フィジカル・システム（CPS）の構築につなげる。